

会議速報

平成 28 年 3 月 18 日ホームページ掲載

開催概要

- 名 称：平成 27 年度 第 2 回新潟市食育推進会議
- 日 時：平成 27 年 3 月 16（水）午後 2 時～午後 4 時
- 場 所：食育・花育センター2 階 講座室 A
- 出席委員：安中委員、石原委員、井上委員、岡崎委員、小山委員、須田委員、立山委員、田中委員、藤田委員、二木委員、牧野委員、村山委員、諸橋委員、山下委員、横田委員、渡辺委員、輪倉委員
(欠席：五十嵐委員、小柴委員、南委員)
- 事務局：大竹食育・花育センター所長、佐藤教育ファーム推進担当主査
黒崎食育係長（司会）、和田主査、小林栄養士
- 関係課：瀬野保育課長補佐、笹谷保健所健康増進課健康づくり推進室主査、
廣川保健所食の安全推進課管理係長、梅沢農業政策課生産政策係長、
大桃食と花の推進課主事、多賀保健給食課長補佐、星野保健給食課給食係長

概要

- 1 平成 27 年度 重点課題への対応状況及び食育・花育センターの食育関連事業実施状況について
【資料 1-1】【資料 1-2】【資料 1-3】

(事務局説明)

- ・ 資料を基に、平成 27 年度の重点課題への対応状況と食育・花育センターの食育関連事業実施状況について説明。

(主なご意見等)

- ・ 菌ちゃんリサイクル元気野菜づくりは今後も継続していくのか。対象を変える・変えない、期間を決めて行うなど。栄養士としても機会があれば協力していきたい。
- ・ 食育の日の協力店が減少した理由は何か。今後、協力店を増やしていくのか。
- 菌ちゃんリサイクル元気野菜づくりに取り組んだ委員からのご意見
 - ・ 園では「生きる力を育むこと」を目標にしている。考案者の吉田先生と考えが同じだったことがきっかけとなり、取り組んでみようと思った。
 - ・ 取組によって子どもたちの体温は上がり、便通もよくなった。朝のうちに家で便が出るようになり、登園後の心配が減ったようだ。
 - ・ 実施にあたり、職員の同意を得ることが大変だった。ただ、「子どもが変わる」という吉田先生のお話を聞いてもらい、説得した。
 - ・ 食改善プログラムを 4 週間、保護者は大変だったと思う。食育・花育センターの職員やインストラクターの協力があって、子どもだけでなく、親もイライラ

しなくなり、子どもが通院する回数が減った家庭もあり、続けてほしいという声があがった。

- ・ 給食では衛生管理上、収穫したままの生の野菜を使うことができなかったため、それについては家庭でという説明が必要だった。
- ・ 大人も子どもも一緒になってワクワク・ドキドキできる体験であり、今後も続けていきたいと思った。
- 食育マスターや料理教室の講師として活動のあった委員からのご意見
 - ・ 食育マスターとして学校や園からたくさんの依頼があり、郷土料理などを教えている。
 - ・ 一度利用されると、次年度も引き続きということがほとんどで、このままの勢いで依頼を受けて大丈夫か、不安に感じている。
 - ・ 食育・花育センターの料理教室では、当初は親子を対象にしたものを実施していたが、地域活動の中で男性向けの料理教室の要望が増えてきたため、対象を様々変えながら実施している。
 - ・ しかし、食育・花育センターで実施すると男性のみだとなかなか参加者が集まらない場合が多いため、センターの協力を得ながら工夫して取り組んでいきたい。
 - ・ キッズキッチンインストラクターとして、食育・花育センターでの教室運営や、地域に出向いている。
 - ・ やはり、一度利用されると引き続きということが多い。その反面、まだ制度を知らない人もたくさんいるようなので、制度を知ってもらい、それをきっかけに食育活動に取り組んでいただきたい。
 - ・ キッズキッチンについては、依頼を多数いただいてもインストラクターの人数が足りていないという現状があるため、センターの協力を得ながら対応していきたい。

2 平成 28 年度 食育関連事業及び予算について

【資料 2-1】【資料 2-2】【資料 2-3】

(事務局説明)

- ・ 資料を基に、平成 28 年度の食育関連事業及び予算について説明。

(主なご意見等)

- ・ 体験をすることで食育に対する理解は深まっていると思う。私も個人的に体験の受け入れを行っているが、食育に対する理解は継続することによって効果が出ていると思う。
- ・ アグリパークについても、農作業を教えてもらうだけではなく、食と健康というその次のステップにつなげて、上手いかなければ見直ししながら、年々良いものにしていってほしい。
- ・ 機能性食品認定制度について、予算額は少ないが、今後大きな取組にあると思われる。食品製造業者に機能性についてのエビデンスはお任せということになると思うが、具体的にどのように展開していくのか。

- ・ 取組に異があるわけではないが、食改善プログラムについては行政が各家庭の食事というプライバシーに関するようなところに踏み込むのは、という説明にもあったように、家庭での取組となると必然的にお母さんが担い手となるように感じられるので、普段関心のないお父さんにも働きかけていってほしい。
- ・ 企業側からの意見となるが、食育の日の協力店について、お店を回ると工夫しているところとポスター等が貼りっぱなしになっているようなところとあるので、そういったところを市がフォローしながら継続し、ビジネスにもつながるようにしていってほしい。
- ・ 市が取り組んでいるということを、マスコミに協力してもらってアピールすることも必要ではないか。菌ちゃんの取り組みは感動的なストーリーになっていた。
- ・ 小学校の校長の立場から、アグリパークは良い施設であり、継続して利用していきたいが、予算は確保されているのか。
- ・ 菌ちゃんの取り組みをやりたいという場合、どうやったらできるのか。

3 第3次新潟市食育推進計画の策定について

【資料 3-1】【資料 3-2】【資料 3-3】【資料 3-4】【参考資料 1】【参考資料 2】【参考資料 3】
【追加資料 1】【追加資料 2】

(事務局説明)

- ・ 資料を基に、第3次新潟市食育推進計画の策定方針、目標数値指標等についてについて説明。

(主なご意見等)

- ・ 国の計画の「共食」に関する指標の「地域等」とは、どこを指しているのか。
- ・ 市の計画の「共食」は誰と食べることを想定しているのか。
- ・ 周知から実践へというステップアップは良いし、さらに区分を変更したことでアクティブに取り組めそうな印象で良い。
- ・ 学校給食における地場産物の使用割合について、目標値が16%というのは低いのではないか。
- ・ 給食の関係のお話があったが、天候によって影響を受けるケースが近年増えている。新潟市においても、ゲリラ豪雨や雪の影響を受け、生産環境が安定しない面がある。
- ・ 給食の場合、一斉になると生産物の供給が難しいということもある。
- ・ 流通関係者の立場から、食べてもらうという中で、高齢化を踏まえて若い世代に対応していきたいと考えている。
- ・ 様々な取り組みを行いながら、続けながら、さらに上乗せしていくといった形で長い道のりの計画だと思う。協力し合いながら一緒に頑張りたい。
- ・ 保育園の立場から、どう関わっていくかを考えている。続けていきたいと思う。
- ・ 食文化について、若い世代については誰から教えてもらうのかといったところや加工品の利用といったことも踏まえて、大切だと思う意識を育てるといったところからやっていってもらいたい。
- ・ スマートウェルネスシティの位置づけと、高齢者向けといったことを踏まえ、食育推進計画への影響はあるのか。

- ・ 追加資料にあった4つのテーマが示す目標も含めて、これまでの計画よりもわかりやすくなっており、市民としても取り組みやすいという印象を受けた。
- ・ 菌ちゃんの取り組みについて、保護者のフォローをしっかりとしていたことで継続につながったと考えられる。普段家事をしているが、誰かに見てもらうということがないと、なかなか続かないと感じた。
- ・ 20歳代・30歳代が食育に取り組みにくいということで、目標指標とされているのだと思う。保育園・幼稚園・小学校は取り組みが充実してきているので、取組の穴となっている世代を狙った取り組みを行う場合には、誰かに見てもらえるというほうが取組を継続しやすいと考える。
- ・ SNSの活用について、例えばダイエットといったように何かのテーマに沿って取り組んだものを1つにまとめて載せるなどしてフォローしてはどうか。

会議資料

- 次第
- 座席表
- 資料 1-1 平成 27 年度 食育推進における重点課題への対応状況
- 資料 1-2 平成 27 年度 食育・花育センター 食育関連事業の実績
- 資料 1-3 アグリ・スタディ・プログラム改訂版 概要版
- 資料 2-1 平成 28 年度 当初予算主な事業（食育推進計画関連事業抜粋）
- 資料 2-2 平成 28 年度 食育・花育センター 当初予算の概要
- 資料 2-3 平成 28 年度 いくとぴあ食花団体体験プログラム集
- 資料 3-1 第 3 次新潟市食育推進計画 策定方針(案)
- 資料 3-2 第 3 次新潟市食育推進計画 目標数値指標一覧（案）
- 資料 3-3 第 3 次新潟市食育推進計画（素案）
- 資料 3-4 第 3 次新潟市食育推進計画の策定スケジュール
- 参考資料 1 【国】「第 3 次食育推進基本計画」目標値の設定方法に関する方針について
- 参考資料 2 【国】「第 3 次食育推進基本計画」目標（案）
- 参考資料 3 【国】第 3 次食育推進基本計画（案）
- 追加資料 1 第 3 次新潟市食育推進計画 4 つのテーマが示す目標について
- 追加資料 2 「にいがた流 食生活」マニュアル
- 事前送付資料
- 当日配布資料

次回開催

- 日 時：平成 28 年 8 月（予定）
- 場 所：未定

※ 詳細については、後日、改めて掲載いたします。